

会 議 録		令和7年8月5日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府亀岡警察署協議会（令和7年度第1回）		
開催日	令和7年6月30日（月曜日）		
時 間	午後3時30分から午後5時30分までの間（120分）		
場 所	京都府亀岡警察署 講堂		
出席者	湯浅会長、木曾副会長、栗山委員、櫻間委員、サミュエル委員、飛田委員、 中澤委員、藤本（妙）委員、藤本（祥）委員、前田委員 （欠席 内藤委員） 計10人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、 警備課長、広聴相談係長 計9人		
諮 問 事 項	1 特殊詐欺被害防止対策について 2 交通事故防止対策について		
会 議 内 容	1 委嘱状交付 司会 副署長 2 会長挨拶 3 署長挨拶 4 協議会委員・署員紹介 5 協議 司会 会長 諮問事項説明 （1）特殊詐欺被害防止対策について～生活安全課長 【委員】今、特殊詐欺の被害防止に関する「京都府知事からの緊急提言」というチラシを配布してもらい、インパクトがあって非常に分かりやすいものだと感じた。その他にはどんな対策を講じておられるのか。 【警察】現在、挙署一体となって国際電話の利用停止手続の勧奨を進めている。交番員による受持ち世帯への訪問や、生活安全課員が各種会合に赴いて声を掛けるなど、ありとあらゆる方法を駆使して推進中である。 【委員】高齢者は、手続の面倒さに加え、「詐欺電話は自分には掛かってこないだろう。」という安易な考えで踏み切らないことが多いと思う。よって、高齢者が集まる場へ足繁く通い、丁寧に説明してあげてほしい。 【委員】高齢者が老後のためにとコツコツ貯めたお金をだまし取る行為は本当に卑劣で許し難い。そういう被害に遭わないため、まずは家族が目配りを怠ってはいけない。また、高齢者は被害防止になる情報を得るため、自治会が開催		

会 議
内 容

しているふれあいサロンなどにも積極的に参加してほしいが、これは女性に比べて男性の参加率が圧倒的に低い。警察はこの辺の実情を踏まえて今後の対策を考えてほしい。

【委員】私は市役所で介護予防教室を担当しており、高齢者と接する機会が多い。介護予防は、とにかく参加をすることが大切である。参加することで他人との対話が生まれ、情報を得ることができ、認知度の低下を遅らせることができる。そして、これは被害予防にもつながることだと思う。そのような見地から今日のお話を聞かせていただいた。

【委員】独居高齢者の方の中には非常にしっかりされている人も多い。ただ、しっかりされているがゆえに、他人に弱みを相談できないこともあると思う。そのような孤立を招かないよう、自治会などが機能をしていかなければならない。

【委員】私は月2回、地域ボランティア活動に携わっている。毎回70人前後の参加者があり、詐欺被害防止の話をすることもある。繰り返し話をするのが効果を上げる手段だと思うので、可能な限り、亀岡警察署からも講師として来ていただきたい。

【委員】市役所にも高齢者担当の窓口があるので、警察と自治体が連携をして効果的に行ってほしい。

【委員】私も、「フリーダイヤル」や「+で始まる電話番号」から電話が掛かってきたことがあるが、詐欺電話の情報を知っていたおかげで「おかしい電話が掛かってきた。」と思って無視することができた。このような電話を受けた場合、警察に通報したほうが良いのか。

【警察】いただいた情報をもとに防犯メールの発信を行うので、遠慮せずに通報してほしい。

【委員】新聞やメール等で詐欺手口に関する内容を目にすると、「次々によく思いつくなあ。」と思う。主犯格ではなく、受け子や出し子として詐欺に加担した場合、どれくらいの罪になるのか。

【警察】受け子にしろ出し子にしろ、詐欺罪ということで、法定刑は10年以下の拘禁刑である。

【委員】私は学校教育の仕事に携わっているが、犯罪の手口や被害状況などを先に知っておくことは被害防止に有効であると思う。今後も子供たちに対して教える機会を数多く持っていただきたい。

【委員】警察が監修した詐欺手口の事例集などがあれば非常に嬉しい。

【警察】新たな手口や多発している手口については、その都度、チラシや防犯メールなどでお知らせするようにしている。

【委員】警察もInstagramなどのSNSを活用すれば、もっと効果が上がるのではないだろうか。また、先ほどお聞きした「主犯格ではなく加担した者も同罪で、全て10年以下の拘禁刑」というようなことも合わせて広報すれば抑止力になると思う。

【警察】SNSについては警察署単位では行っていないが、京都府警察本部では各

会 議
内 容

警察署からの投稿を集約し、Facebook、Instagram、YouTube などを使って積極的に広報活動を行っている。また、NHKやケーブルテレビへの出演による広報活動も行っている。当署としては今後、亀岡市に特化した広報活動ができればと思っている。

(2) 交通事故防止対策について～交通課長

【委員】横断歩道の無い所を頻繁に横断される場所が市内に何箇所かある。言い出すとどこでも可能性はあるのだが、歩行者の通行量が多い場所は非常に危険だし、交通の円滑にも支障を来す。そこで、可能な限り、その場所で警察官の姿を見せるようお願いしたい。

また、自転車にも青切符が適用されるというニュースが流れているが、そもそも自転車利用者がきちんと道路交通法を理解しているのか疑問である。マナーの悪い自転車は考えられないような場所を走ったりするので、自転車利用者の教育にも力を入れてほしい。

【委員】自治会では横断歩道の設置など道路に関する要望を出すことがあるが、要望が叶って設置されても、手本となるべき大人が全く利用しないといったことがある。我々大人がお手本となり、きちんとルール・マナーを守ることが大切である。

【委員】横断歩道のことについては、京都サンガの試合開催日が特に目立つ。当然、人出が多くなることが要因ではあるが、一人がマナーを破ると罪悪感が減って同じように行動する人が出てくるという感じである。

【委員】私は大学で勤務しているが、小学生だけでなく大学生に向けた自転車教室も実施してほしい。

また、昨年の協議会で交通事故の多くが自転車関連であることを聞いたが、その傾向は今年も続いているのか。

【警察】今年は、自転車関連の人身事故は大幅に減っているが、ヘルメットを着用していなかったために負傷した事故が発生している。よって、引き続き自転車乗車用ヘルメット着用の広報を強く推進しているところである。

【委員】シートベルトの着用はほぼ浸透したように感じるが、相変わらずスマホを操作しながらの運転を見掛けることが多い。そのことが言われ始めてから結構、経っているので、そろそろシートベルトと同様に完全浸透できないかと思っている。

【委員】交通事故発生状況・時間帯別グラフに関してだが、本年は12時から14時の時間帯が交通事故発生がゼロになったと記載されている。これには何かの取組が影響しているのか。

【警察】これについては、昨年、その時間帯の発生が多かったため、そこに意識して取締りを実施した結果である。

【委員】私の大学では今秋に国際科ができて留学生が増加する。そういう学生に向けたチラシ等があれば配布をお願いします。

【委員】最近、運転していて思うことは運転免許返納の時期である。個人個人でそれぞれの事情があり、返納にはなかなか踏み切れないのが実情だ。そこで、

会 議
内 容

自治体がもっと後押しをしてくれればと思う。ここには市役所の方もいらっしゃるので、返納特典が充実されることを望む。

また、情けない話であるが、自転車マナーは子供よりも大人の方が圧倒的に悪い。スマホを見ながらの運転は最たるもので、青切符が適用されるのであれば、その辺が改善されることを望む。

【委員】私は仕事で高齢者と接する機会がしばしばあり、その中で「えっ、この人、車を運転して来たんや。」と思うことがある。確かに免許を返納すると途端に日常生活への影響が出る人がほとんどで、非常に難しい問題ではあるが、更に高齢化社会へとなっていく今、目を逸らすわけにはいかない問題である。

また、自転車に関しては、都合のいい時には車両となり、都合のいい時には歩行者となるといった感じがする。きちんとルールを分かっている人は少ないように思え、青切符が適用されることで交通事故の減少につながれば良いと感じている。

【委員】京都サングの活躍は京都府民・亀岡市民として非常に喜ばしいが、ゲーム開催日には交通渋滞が発生していることも事実である。そこで、ゲーム開催日に渋滞を緩和する交通規制ができないものかと常々思っている。

そしてもう一つ、卒業・就職・転勤などで新しいドライバーが出てくる4～6月ころ、府道王子並河線では一方通行の逆走が毎年見られる。地元住民としては非常に気になる場所なので、その辺を知った上での対応をお願いしたい。

6 事務連絡

令和7年度第2回京都府亀岡警察署協議会は、令和7年9月中に実施予定である。

以上

第1回京都府亀岡警察署協議会の開催状況

